

exam-philosophy

問い

1:引用あてクイズ思想家の思想内容の特徴的に示すから誰の言葉かを当てる問題。4×5 20点 2:授業の中のキーワードにあたる言葉を5〜7行で説明。用語説明の問題 3問から2問選ぶ 15×2 30点 3:全体の議論をつなぐような問題をだす。自由に持論を展開する。今日のような内容。50点配当問題。

Outline

1. 近代世界における公私関係の変容と政治の可能性

- Public・公・おほやけ
- 古代ギリシャにおける公的生活
- 超国家主義・公共性の再定義・「開かれた社会」

2. J.Habermasと公共圏の成立・解体・再興(ハーバーマス)

- Habermas 『公共性の構造転換』
- 公共性・封建制・ノーランチャート・国家規制の正当化・組織内民主主義
- ハーバーマスの問題点 -> 資格要件問題・マス・メディア

3. H.Arendt 手すりなき思考(アレント)

- 公共圏の政治・ユダヤ人問題・アレントのアリストテレス解釈と学問区分
- 言葉による相互行為・カントの「三批判」・全体主義
- イデオロギーとテロル・故郷喪失・権力と「強さ」・アレントの公共空間・強制収容所

4. 「主権」をめぐる問題 合法性と正統性

- リベラルと共和主義・Habermasの熟議民主主義・法と政治
- 政治の法化・立憲主義・9条増加憲・法の政治化・民主すぎ
- M.Weberの正統性3類型(合法的・伝統的・カリスマ的支配)・主権正統性暴力・憲法制定権力
- 超越者=構成的外部の位置・抵抗権・憲法制定暴力・近代主権国家
- ホモ・サケル・収容所パラダイム下にある現代政治・悪法は法ならず

5. 平和とは何か(1)

- 平和と安全保障・儒学的な世界の自然的連続性・戦争と平和
- 最高度緊急事態Supreme Emergency・Walzerの「政治」「哲学」・義務論・功利主義批判
- 正義と平和・構造的暴力・不平等な世界(ジニ係数)・暴力の類型
- 帝国主義の構造・封建的中心・日本国憲法前文

6. 平和とはなにか(2)

- 日本国憲法前文・国際社会の普遍的正義の基準の不在・秩序と平和
- 法=秩序の創出・心の問題・民主主義と平和=Democratic Peace
- 神話性・シビリアンの戦争・侵略戦争

- 絶対的平和主義・人道的介入・積極的平和主義

引用

1.

- 丸山眞男と<近代的主体>
- 上沼千鶴子『生き延びるための思想』
- 柴田寿子『スピノザの政治思想 デモクラシーのもうひとつの可能性』

3.

- ハンナ・アレント『革命について』
- Konstellation: 『手すりなき思考』
- Gアガンベン『ホモ・サケル』

4.

- Gアガンベン『ホモ・サケル』
- 大沢秀介
- 篠田英朗『ほんとうの憲法のウソ』
- 難民と無国籍者の登場(Arendt)=アレント
- Homo Sacer (Giorgio Agamben)=アガンベン

5.

- 教育勅語
- Michael Walzer Just and Unjust Wars 『正しい戦争と不正な戦争』
- 杉田敦『境界線の政治学』
- J.ガルトゥングの「構造的暴力」論
- 日本国憲法前文

6.

- 緒方貞子語録
- 『文明の衝突』 S. Huntington
- アガンベン『例外状態』
- Romain Rolland・UNESCO憲章前文・野田正彰『戦争と罪責』
- シビリアンの戦争
- Bruce Bueno de Mesquita & Alastair SMith 『独裁者のためのハンドブック』
- カント、平和条約